

事業所名

コロニー児童デイサービスみやぎ発達支援

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」「職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。					
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
		項 目			ねらい		
本人支援	健康・生活	・身辺自立 ・給食、おやつ、水分摂取 ・検温、手洗い、片付け、カレンダーハシール貼り			・衣類の着脱、トイレでの排泄、持ち物の準備や確認が自分のできるようになる。 ・偏食の改善や緩和。食への興味関心拡充。嚥下、咀嚼の確認。食具の使い方の獲得。細目な水分摂取の習慣化。 ・衛生面の確認や保持、健康観察、日付や曜日を知る。		
	運動・感覚	・公園遊び（遊具、砂場、広場で自由遊び） ・アスレチック運動（平均台、トンネルくぐり、三輪車など） ・感覚遊び（スライム、粘土、フィンガーペイント、ぬり絵、工作他）			・体の使い方の習得、体幹機能の向上。お友達と遊ぶ楽しい気持ちや遊具遊びに挑戦したい気持ちを育む。 ・平衡感覚を養う、手足の動き、位置を確認しながら行動する。 ・様々な触感に触れることで感覚過敏の緩和や苦手意識の軽減。		
	認知・行動	・ルールのある遊び、活動（マット取りゲーム、サッカー、鬼ごっこ他） ・買い物支援 ・知育玩具、おやつ作り			・ルールがあることを知り、理解し、守る。他の人と協力して物事に取り組むことを経験し習得する。目で見て考えて動く。 ・公共の場でのマナーやルールを知り、その場所や状況に合った行動ができる。商品はお金を使い購入できることを知る。 ・見る、考える、手指の動き、机上活動、集中力。材料準備から調理、配膳、食す、片づけるの経験を積む。		
	言語 コミュニケーション	・絵本の読み聞かせ ・朝の会、帰りの会 ・ST（言語聴覚士）による言語訓練			・言葉を聞くだけでなく、イラストも見ながら聞くことで、物の名前や形、表現力を知り、活用へ繋げる。 ・挨拶、受け答え、歌、人前での発表や場面に応じた姿勢や行動ができる（着席、話を聞く姿勢、など） ・発音の明瞭化、（感情や要求などの表現の）言語化、コミュニケーション力や社会性を養う。		
	人間関係 社会性	・外出支援（公共施設見学、体験、イベント参加など） ・ごっこ遊び、自由遊び			・施設見学やイベント参加、体験を通して、興味関心の幅を拡げ、様々な感覚や感情体験をする。 ・遊びの中でお友達とのやり取りや玩具や場所の共有で成長発達段階に応じたコミュニケーションの獲得。		
家族支援		・自宅等への送迎。 ・保護者のレスパイトケア。 ・家族会、面談（子育ての不安や気になることなどの相談）			移行支援		・関連機関との連携（園や併用事業所、医療機関）
地域支援・地域連携		・地域コミュニティイベントへの参加 ・地域の児童館や公共施設の利用			職員の質の向上		・職員研修（外部、法人内） ・虐待、身体拘束防止 ・救命法講習会（今年度これから実施予定）
主な行事等		・誕生会 遠足 季節の行事（初詣、ムーチー作り、節分、ひな祭り、ハロウィン、七五三詣り、クリスマス会、ミカン狩り） 進級、入園おめでとう会 卒所式 買い物支援 外食体験 ・GW、夏休み活動（イチゴ狩り、水族館、映画館で映画鑑賞体験、水遊びなど） モノレール乗車体験 ジャガイモ収穫体験 ・おやつ作り（毎月） 家族会（5月頃開催） 社会見学（県警や消防署、工場見学など）					

※本人支援については、『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』の5領域を重複して実施する支援プログラムもあります。詳細は、別紙を閲覧ください。